

13春闘 第4回交渉行おう!!

貨物労組本部は、本日、13春闘の第4回交渉を行い、組合の要求に対して会社の考えについて説明がありました。

会社

交渉の中で会社は次の考えを明らかにしました。

定期昇給については実施するが、ベースアップの実施については出来る状況にない。55歳以上の賃金改善は昨年と同様とする。諸要求については別途議論したい。その考えに至った理由として。

- ①収入動向は、2月は輸送障害が響き、対計画△3.9億となった。3月に入っても6日までの実績で対計画△1億である。今年度の落ち着き見込みは、大きな輸送障害が無ければ黒字になる見込みである。
- ②25年度の事業計画も黒字を計画している。一方で、線路使用料・動力費・修繕費等の経費が増加する。また、関連事業部門もテナント賃料見直しなどが発生するために厳しい状況である。
- ③国内総物流量は、25年度も減少が見込まれ、収入拡大は難しい。

組合

会社の考えに対して組合は、

- ①25年度の計画を黒字としているにもかかわらず、厳しいと言う内容が分からない。我々の生活の方が厳しい。組合員の苦労に対してベースアップ実施で報いること。
- ②収入未達の原因を外部要因に転嫁している。輸送障害の対応などに対して、経営陣がどのように収入減に歯止めをかけたのか具体的に明らかにすること。
- ③収入拡大よりも経費削減にまい進する経営陣からは、稼ぐための必死さが全く感じられない。全社を挙げて収入拡大に取り組むこと。
- ④初めから経費削減の考えを出す会社の考えは、絶対に認められない。社内で再検討し、回答指定日までに誠意ある回答を示すこと。

経営未達の責任を賃金抑制で乗り切ろうとする会社の姿勢は絶対に認めない!

青年部員の皆さん! 職場から声を挙げ、バアを勝ち取ろう!!